

真弓山

足助中学校だより
令和7年12月22日(月)
第9号



◆立志式◆

12月6日(土)足助中学校第60回立志式を行いました。

式のある週にインフルエンザが流行し、主役の2年生は式当日を迎えるまでに学年閉鎖となりました。これまでにない緊急事態となっていました。1,3年生が2年生に代わって、進んで式の準備をしてくれました。そして、ほとんど練習できずに不安な気持ちで当日を迎える2年生のために、自分たちが支えようという気持ちで本番を支えてくれました。



2年生は久しぶりの登校で、顔を合わせた友達との再会を喜びのもつかの間、朝の短い時間の中で、式の動きや流れを確認して式に臨みました。式の中では、2年生の生徒たちが、自分たちのこれまでを振り返って立志の歩みとして発表しました。小さい頃からの家族との思い出、職場体験で学んだこと、見守ってくださる地域の方や、支えてくれている家族への感謝の言葉がありました。そして、一人一人が「立志の言葉」として、力強く自分の目標を語りました。

校長先生からは式辞の中で、過去や現在、志をもって人生を送った(送っている)人たちのエピソードに触れながら、「継続や努力、本や人から学ぶこと、感謝、謙虚さ」などのキーワードを常に心に刻み、志は高く、姿勢は低く、ひたむきな努力ができる人になってほしいとメッセージが送られました。

2年生の代表生徒はお礼の言葉の中で、「私たち2年生の学年目標は『夢限大』です。仲間と協力し、様々な経験を通して一人の人間として大きく成長して



いきます。そして、「夢は限りなく大きく」「夢を限りなく大きく」抱き、校訓『自立』へ近づけるよう、努力していきます。」と、たくましく決意を述べてくれました。

そして、学年で「Unlimited」を合唱しました。とても心のこもった歌声が体育館に響き渡りました。学年閉鎖明けというピンチを乗り越え、立派な姿を見せてくれた2年生。4月には、足助中学校の顔となります。これからに大いに期待したいものです。



◆ラリージャパンリエゾン見学◆

11月7日(金)にラリージャパンのリエゾンを観戦しました。3学年が分かれて、ラリーカーが来るのを待ち構えました。遠くからも聞こえる迫力ある車のエンジンが響き渡り、世界大会に参加する選手が乗ったラリーカーが目の前を通ると、みんな大興奮で旗を振って声援を送りました。

次回の大会は令和8年5月に予定されているそうです。

